

仙石高原ビラの閉館について

掲記の件、長らくご愛顧頂いてきた健康保険組合の直営保養施設である仙石高原ビラ（以下、ビラと言う）を、来年（2026年）8月末をもって閉館し売却することを、7月に開催した組合会で決議し、ビラの運営を委託している東京ケータリング（株）殿とも閉館に向けた協議が整いましたのでお知らせ致します。

ビラは箱根の仙石原にある温泉保養施設として、昭和30年台から運営を続けてきており、現在のビラは1995年8月に建て替えられて、今日に至っています。

これまで多くの利用者を受け入れてきたビラですが、建て替え後30年が経過し施設の老朽化が進み、今後とも安全に施設を運営し続けるためには大規模な修繕工事が必要となるなど、大きな投資を判断する節目の年限を迎えています。

当健保の財政状況につきましては、ホームページに掲載している広報誌「けんぽ」でもご紹介している通り、2024年度までは何とか黒字を維持して参りましたが、2025年度からは75歳以上の後期高齢者人口が増加し、高齢者医療への拠出金が大幅に増加することなどから、赤字に転ずる見込みです。

今後、厳しさを増す当健保の財政状況を踏まえると、現行の健康保険料率を上げないよう、いかに効率的、効果的に健保運営を続けてゆくかが大きな課題となります。このような状況の中で、ビラに大規模補修の投資を行うことが可能か否かについて改めて検討した結果、冒頭申し上げたように「閉館」と言う結論に至りました。

O Bを含めて、多くの方々の健康づくり施設として運営してきたビラですが、来年8月末で閉館させていただきます。

限られた期間とはなりますが、ご案内から閉館までに1年の期間を置かせて頂きました。この間にビラを再訪頂いたり、これを機にビラを訪れて頂くなど、最後までビラをご活用頂きますよう、お願い申し上げます。

以上

注記：

本通知は、健康保険組合のホームページや、健康づくりサポートアプリのPepUpも通じて、ご案内しております。